

■大中臣清麻呂 公卿。惠美押勝の乱後一氣に出世、伝に'数朝に仕え国の元老、年老いても朝務に精勤、怠ることなし'。

おおなかとみのきよまる

持統天皇没・702= 生。国子の曾孫、国足の孫、意美麻呂の七男で、母は多治比島の女阿伎良。

..... 711=9歳:

藤原不比等没 720=18歳:

長屋王の変・729=27歳:

藤原四卿没・737=35歳:

橘諸兄右大臣 738=36歳: 参河椽の任にあったが、

以後、神祇大祐・同少副・式部大丞などを歴任。

大仏造立詔・743=41歳: 正六位上から従五位下に叙せられ、ついで、神祇大副に任ぜられた。

大仏鑄造始・747=45歳: 尾張守、

懐風藻..... 751=49歳: 従五位上。「万葉集」に、伝調歌があり、

大仏開眼..... 752=50歳: 東大寺大仏開眼供養会には鎮裏京使を務めた。

..... 753=51歳: 短歌1首、

鑑真来日..... 754=52歳: 神祇大副に再任、これは元正太上天皇の病臥が大神宮祭主清麻呂を外国に遷任したためという。その後、左中弁に任ぜられた。この頃、大伴家持や市原王などと親交のあったらしい。

聖武天皇没・756=54歳:

孝謙天皇讓位 758=56歳: 式部大輔として4首を残す。

万葉集最終歌 759=57歳: 正五位上、

新羅征討計画 762=60歳: 従四位下に叙せられ、孝謙太上天皇と淳仁天皇との間に不和が生じたあと、文部(式部)大輔の任にあって中宮院の淳仁に侍し、藤原仲麻呂の子訓儒麻呂らと勅旨の宣伝に当った。同年、*参議に任ぜられ、

押勝暗殺計画 763=61歳: 左大弁、撰津大夫を兼ね、

惠美押勝の乱 764=62歳: 従四位上に昇叙したが、必ずしも仲麻呂にくみするものではなく、仲麻呂の乱後、正四位下に叙せられ、

..... 765=63歳: 勲四等。_さらに、その心は名のごとく清慎、神祇に奉ずるに勤勞であるとして従三位に叙せられる。

..... 768=66歳: 中納言に任ぜられ、

宇佐八幡神託 769=67歳: 神祇官に任じて供奉失なしとして大中臣朝臣の氏姓を賜わる。光仁天皇にも厚く信任され、

光仁天皇..... 770=68歳: *正三位に昇叙、

東大寺完成・771=69歳: 他戸親王の東宮博となる。時に大納言。_病臥の藤原永手に代って左大臣のことを撰行し、次いで永手が没すると、右大臣・従二位に任叙されて廟堂の首座に就く。

厭魅事件..... 772=70歳: 私第に行幸があり、正二位に叙せられたが、政治は内臣藤原良継とその弟らの領導するところとなり、他戸皇子が廢されたあと、

山部立太子・773=71歳: *上表して辭職を乞うも許されず、

..... 774=72歳:

..... 779=77歳: 備前国邑久郡の荒廢田百余町を賜わったが、

桓武天皇即位 781=79歳: *桓武天皇が即位した翌年、上表致仕して几杖を賜わり、

..... 783=81歳:

蝦夷征伐始・788=86歳: 平城右京二条の第で、_没した。